

二二七七番

さ雄鹿をしかの 入野いりののすすき 初尾花はつをばな いつしか妹いもが
手を枕まくらかむ

二二七八番

恋こふる日ひの 日長けながくしあれば み園生そのみの 韓藍からあゐの
花はなの 色いろに出いでにけり

二二七九番

我が里さとに 今咲いまさく花はなの をみなへし 堪あへぬ心こころに
なほ恋こひにけり

二二八〇番

萩はぎの花はな 咲さけるを見みれば 君きみに逢あはず まことも
久ひさに なりにけるかも